

第68回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会 要項

種目 軟式野球

- 1 主催 愛知県高等学校体育連盟
愛知県高等学校定時制通信制軟式野球連盟
- 2 期間及び会場
1日目 5月27日(土) 口論義運動公園野球場B・C面(1日)
2日目 6月4日(日) 口論義運動公園野球場 C面(1日)
予備日 6月10日(土) 口論義運動公園野球場B・C面(1日)
- 3 会場責任者
口論義運動公園野球場B
(愛知工高 安井 佑騎)
口論義運動公園野球場B・C
(一宮高 安藤 侑亮)
- 4 大会役員
大会委員長 杉浦 慶一郎(岡崎高)
大会副委員長 村上 慎一(刈谷東高)
委員長 安藤 侑亮(一宮高)
副委員長 安井 佑騎(愛知工高) 服部 大樹(刈谷東高)
庶務 鈴木 貴之(愛知工高)
委員 鈴木 茂(向陽台高) 森永 大地(瀬戸窯業高)
- 5 競技役員 名古屋軟式野球連盟審判員
- 6 補助員 愛知工業高等学校野球部員
一宮高等学校野球部員
- 7 競技方法
①7回制及び時間制併用(試合開始後1時間45分で次回最終回)とする。
また、5回以降7点差の場合は、コールド制を適用する。同点の場合は1死満塁で任意打者(走者は前位者)によるタイブレーク方式で行う。
※任意打者とは、チームで打者を決めることができることである。
※走者は、任意打者によって決定する。
(例)4番打者を選択した場合、3番打者が1塁走者、2番打者が2塁走者、1番打者が3塁走者となる。
※タイブレークを1回行ってもなお同点の場合は、同様のタイブレーク方式を繰り返して行う。
②ベンチは、組み合わせ表の若番チームを1塁側とする。
③雨天により試合続行が不可能と審判が判断した場合には、5回終了していればコールドゲームとする。
- 8 試合方法 トーナメント方式
- 9 使用球 全日本軟式野球連盟公認球「TOPボール」A号を使用する。

- 10 参加資格 ①各県高等学校体育連盟に加盟している高等学校定時制・通信制課程の生徒で
各県高等学校体育連盟の推薦するもの。
②校長の出場認知証明のあるもの
- 11 参加人数 責任教師・監督・助監督・コーチ・記録員 各1名
15名以内 ただし県内大会ではこの限りではない。
- 12 表彰 優勝チームに優勝杯、賞状、メダル。2位と3位チームに賞状を授与する。
- 13 参加申込 5月23日（火）の顧問会議にて選手登録用紙（総体用1部、全国用2部）と競技分担金を
提出する。
※ 選手登録用紙は愛知県高体連HPの「ダウンロード→各種大会参加申込書→定時制通信制
→軟式野球」にあります。
- 14 組合せ 各チームによる抽選のうえ決定する。（別紙）
- 15 その他 ①各学校は、必ず1名の責任教師が引率し、大会中はすべての行動に責任を負うもの
とする。
②大会中の不慮の事故または疾病に対して、主催者はその応急手当を施す他は一切の
責任を負わない。出場チームは、選手の健康保険証または健康保険証の写しを持参
のこと。
③試合中、選手の負傷その他健康上の理由で、主催者が試合の続行を不相当と認めた
ときは、当該選手またはそのチームに試合を停止させることがある。
④試合の審判員は、主催者において委嘱する。
⑤試合中、野球規則に認められていない審判上の抗議は一切厳禁とする。
⑥シートノックは、5分以内とする。ただし、天候・球場の状況などにより実施しな
い場合もある。
⑦グラウンド整備は、各チームで行うこと。
⑧危険防止のため打者・次打者・走者はヘルメットを、またキャッチャーはキャッチャー
ヘルメット・キャッチャーマスク・プロテクター・スロートガードを着用すること。
なお、ランナーコーチもヘルメットを着用すること。
また、球場内へのマスコットバット及びバットリングの持ち込みは禁止とする。
⑨出場チームは、試合開始前1時間前には到着すること。
⑩試合球はトップボールA号とし、春の総合体育大会については、事務局で準備をする。
秋季大会については、参加各校1試合につき2個ずつ持ち寄りとする。
⑪雨天による開催の可否決定は、午前6時に行う。
⑫危険防止のため、試合中、選手はピアス・ネックレス等の装飾品を外すこと。

この文書に関する問い合わせ先
高等学校体育連盟定時制通信制軟式野球
専門委員長 安藤 侑亮（一宮高校）
電話：0586-71-5514
Fax：0586-73-1083